

要 項

(要点のみ)

大会名	広島市長杯・第10回ヤングひろしまピース親善大会
主 催	全日本少年硬式野球連盟広島支部 (主管 ヤングひろしま)
後 援	広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会 東広島市 海田町 海田町教育委員会 中国新聞社 デイリースポーツ 日刊スポーツ新聞西日本
日 程	平成26年9月27日(土)・28日(日) 10月4日(土) 予備日5日(日)
球 場	瀬野川公園野球場・佐伯総合スポーツ公園野球場・千代田運動公園野球場 広島市民球場 (MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)・御建公園野球場 白竜湖スポーツ村公園野球場・海田総合公園野球場・呉市虹村球場
参 加	ヤングリーグ広島支部 広島県4チーム・山口県4チーム ヤングリーグ岡山支部 4チーム ヤングリーグ兵庫西支部 1チーム リトルシニア中国支部 4チーム ボーイズリーグ広島県支部 1チーム フレッシュリーグ九州北部地区連盟 4チーム
試合形式	トーナメント形式 7回時間制限なし。7回終了時点の場合、決着がつくまでタイブレークゲーム を行う。(4回終了時10点差以上及び5回以降終了時7点差以上の場合はコールド ゲームとする)
選 手	中学3年生主体～1年生25名登録 (試合当日変更の場合は2部提出する)
参加費	20,000円
開会式	瀬野川公園野球場 (※公園に、大会についての問い合わせはご遠慮下さい) 平成26年9月27日(土) 8:30開始予定 8:00までに周辺的一般道に停車しないようお願いします。
表 彰	優 勝 広島市長杯 優勝旗 表彰状 金メダル 準優勝 準優勝盾 表彰状 銀メダル
注 意	各球場において特別規則がある場合には、施設管理者に迷惑をかけないよう、 大会本部の指示に従うようにして下さい。
その他	大会についての問い合わせは、大会事務局までお願いします。 ※選手登録名簿・弁当宿泊注文書は7月22日(火)までにご返信下さい。 大会事務局 日野原 正敏 携帯 090-1184-9580 メール masa2777@enjoy.ne.jp

- ・ 受付する時に、メンバー表を受け取ること。(ヤングリーグ所属チームは連盟指定のものを使用する)
- ・ 開会式には、代表・監督・コーチは所定の位置に整列し、チーム紹介の時に代表(不在の場合は監督)は数歩前を出て一礼をする。開会式終了後、選手が退場するまでは役員・指導者は退場しないこと。
- ・ 試合開始前の選手挨拶には監督も参加し握手する。
- ・ 試合前のメンバー表交換は4部提出する。
- ・ 投手は一日8回を超えて投球することは出来ない。
勝利チーム(当日次の試合がある場合)のマネージャーは試合終了後直ちに自チームの投手登板回数の報告を画面にて球審へ提出する。
イニングの途中降板は分割計算なしで全て切り上げ1イニングとして計算する。
- ・ 監督・コーチが選手にアドバイスをするときは、ファールラインのところで行う。
- ・ コーチボックスにはヘルメットを着用し選手のみが位置する。
- ・ 初日敗者チームの二日目交流戦については、初日全試合終了後、大会本部にて調整し各チームに連絡する。
- ・ 本大会の球場は、グラウンド以外(通路・一般の利用者がいる場所等)での素振り、キャッチボールは禁止されているので厳守すること。
- ・ 試合前審査は、ヤングリーグ所属チームのみ行い、他リーグ所属チームは審判による用具のみの審査とする。
- ・ 初日、予定通り終了した場合は、学年別(低学年)の交流戦も行いますので、希望チームはお知らせください。

広島市長杯・第10回ヤングひろしまピース親善大会規定

- 1) 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。
同学年で25名以上登録の場合は、主催者の承認を得なければならない。
- 2) 出場選手は本大会の登録選手に限る。
- 3) 審査は連盟発行の選手証明カードにより行う。(ヤングリーグ所属チームのみ)
- 4) 試合審査時11名に満たなかった場合は本大会出場を認めない。
- 5) 登録選手及び登録された監督:コーチ2名:スコアラー(ヤングリーグ所属チームは指導者証携行厳守)のみベンチに入る事が出来る。
- 6) トーナメント戦の場合、組み合わせの若番号が1塁ベンチ:後番号が3塁ベンチに入る。リーグ戦の場合、日程表(試合予定表)の左側に記載が1塁側:右側記載が3塁側ベンチに入る。
- 7) 監督(背番号80)コーチ(背番号70)は選手と同じユニフォームを着用すること。総監督をおく場合は、背番号90とする。ただし、ベンチ入り及びユニフォーム着用での参加は監督が不在の場合に限る。
他リーグ所属の参加チームについては、所属リーグの規定による。
- 8) 試合開始時間60分前に試合場に到着し所定の審査を受けること。他リーグ所属の参加チームは用具のみの審査とする。
- 9) メンバー表交換時(4部提出)に両キャプテンにより先攻:後攻をジャンケンで決める。
- 10) 試合開始時間までにチームが球場に到着なき時は、主審は没収試合を宣言することが出来る。
開会式会場より移動チームに関して、試合会場到着が遅れる可能性がある場合は猶予する。
- 11) 試合
 - A) トーナメント戦、リーグ戦とも7回時間制限無しとし、7回終了時点の場合には決着がつくまでタイブレークゲームを採用する。
(タイブレーク)
最終回終了時の引き続きの打順でワンアウト満塁にてゲームをスタートさせる。
 - B) 監督・コーチの指示伝達は一試合(7回)で守備・攻撃のタイムを各3回迄とする。
タイブレークに入った場合はそれ以前の回数に関係なく1イニング1回とする。
※選手の交代及びプレイの確認についての「タイム」は計測しない。
※指示伝達は審判員が「タイム」を宣告してから「30秒以内」とする。
 - ・ 守備側のタイムの制限
 - ① 監督が守備の作戦の為(投手含む)にタイムを要求した場合。
 - ② 内野手(捕手含む)が、2人以上マウンドに行った場合は1回の計測とする。
 - ・ 攻撃側のタイムの制限
 - ① 相手側(守備側)のタイム中に協議するのは認められるが守備側のタイムが終了する迄に行う。
(守備側のタイムが終了してもなお継続する場合は1回の計測をする。)
 - ② 攻撃側に責任なく試合が中断(選手の突発的な怪我等)した際は計測しない。
- 12) A) 4回10点、5回以降7点差の時はコールドゲームとする。
リーグ戦においてやむ得なく棄権した場合は0対7で敗者とする。
B) 試合の成立は4回終了を原則とする。
C) 5回以降、降雨/日没等により後攻ができない場合は、最終均等回の得点を以て成すものとする。
- 13) 雨天等により4回未満で試合を中止の時はノーゲームとする。
- 14) 投手の連投を認めるが1日合計8イニングまでとする。(イニングの途中降板は分割計算なしで全て切り上げ1イニングとして計算する。)
- 15) 監督又はコーチが選手にアドバイスをするときはファールラインのところで行う。
- 16) 監督又はコーチが投手に対して指示を与える目的をもってタイムを要求する場合直接、間接を問わず1イニングにつき2回目に自動的に投手交代となる。その投手は、他の守備位置につくことは出来るが、同一イニングでは再び投手として登板することは出来ない。但し新しいイニングに入れば登板することが出来る。
- 17) ヘルメットは1チーム7個以上同色で完全なものを備えること。
(但しボールボーイ用として別に2個完全な物を用意すること)
- 18) 金属スパイクの使用を認めるが人工芝球場での使用は特に注意すること。
- 19) 外国選手及び女性選手の出場を認める。人数は制限しない。
- 20) 捕手試合及び練習を問わず必ずユニフォーム下に規定の防具を着用すること。

- 21) グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に設定されている場合はそれに従うこと。
- 22) 選手は全員連盟指定の傷害保険に加入しなければならない。
- 23) 監督:コーチ:選手はユニフォームの左袖に連盟指定マークを付けなければならない。(ヤングリーグ所属チーム)
- 24) 試合前のシートノックは原則として両チーム5分(後攻)行うが進行時間等により中止することもある。
出場選手が11名を割った場合は出場を禁止する。
- 25) 背番号は必ず登録された番号に限る。変更は認めない。
- 26) 左袖に連盟指定マークの付いていない者の出場は禁止する。(ヤングリーグ所属チーム)
- 27) 選手証明証のないものは出場を禁止。(ヤングリーグ所属チーム)
(但し試合開始迄に用意出来る時は審査の上出場を認める)
- 28) スコアラーは選手と同じ帽子を着用すること。
- 29) 監督:コーチ:スコアラー等不在の時。
- 30) 監督不在の場合はコーチ(総監督含む)を監督の代行と認める。(但しメンバー表に明記)
- イ) コーチが不在又は欠員の時は指導者登録のされている者が代行することを認める。
- ロ) 監督:コーチ(総監督)不在の場合は速やかに連盟本部(大会本部)に申請書を提出しその事情を認めた時は代理監督を許可する。
その場合、代理である事の証明を必要とする。
- ハ) スコアラーはあくまでスコアラーであり不在の場合は大会本部に届け出る事に依り代理が認められる。(指導者証携行厳守)
- ニ) チーム代表は監督:コーチ:スコアラーになれない。
- ホ) チーム旗及びプラカードは連盟指定の物とし大会等には必ず持参すること。
- 31) メガホンを使用するのは、指導者のみとし、ベンチの持ち込みは、3個までとする。
- 32) 退場命令の行使について
審判に対して限度を超える侮辱または暴力とみなす行為が認められた場合、審判は即刻退場を求めることが出来る。
また、ベンチ外〔応援団席、観客〕から同様の侮辱、暴言があった場合も、球場責任者は審判団と相談の上、退席を求めることが出来る。
- 33) 各所属リーグにおいての規定と異なる場合があるので、質問があれば試合前に本部署で確認し理解すること。

ヤングリーグ役員・監督・コーチ・選手・審判の任務

- ※役員
ヤングリーグ運営の指導者として積極的に奉仕し、愛情と寛容の精神をもってチームを正しく指導し、自ら少年の健全な育成に任ずる誇りを持たなければならない。
- ※監督、コーチ
・ 練習及び試合を問わず、服装は常に選手と共に活動できる連盟規定の服装で指導しなければならない。
・ 選手の健康管理に常に留意し、技術向上と選手の教養に必要な知識とルールの研修を高めること。
・ 言語も態度も選手が尊敬し、信頼できるよう注意しなければならない。
- ※選手
・ 少年らしい純真さと勇氣と忍耐をもって、規律正しい態度で指導者の指示に従い試合または練習に励むこと。
・ 選手は試合中相手方をひぼうすることなく、親善交流を旨としたプレーをしなければならない。
・ 選手は試合中相手方の好プレーに対し、賛辞を与えるような態度でなければならない。
・ ヤングリーグの選手であるというプライドをもって、選手同士は常に友情を旨とし、助け合いながら清く・正しく・明るく・正直に歩まなければならない。
- ※審判
・ 常にルールを研修、試合関係者に信頼される審判態度であること。
・ 試合運行上の最高責任者としての正しい態度が必要である。
・ 審判は常に少年選手であることを念頭におき、判定態度はあくまで明確でなければならない。